福岡市議会通信 第36号（2016年 秋号）

民進党

田中しんすけ

特集記事 **第5回 議会活動報告会を開催しました!**

福岡市議会・福岡市民クラブ 主催

市民の声に耳を傾け、
より良い福岡市政を実現するために!

掲載記事

- 9月定例会報告（福岡市旅館業法施行条例の改正）
- 議会改革が前進しています!（議会改革調査特別委員会の取り組み）
- 第19期・議員インターンシップ（若年者の政治参加促進）

今年も「読書の秋」が到来です。読書といえば、この秋に平尾地域でも商店街が主催するイベント「ひらぐら古本市場」も開催されましたね。田中しんすけも主催者の一員として携わりましたが、多くの出店者と読書を楽しむ親子連れでとても賑わいました。また、夏から秋にかけては「地方議会の取り組み」が新聞やテレビで注目された季節でもありました。福岡市議会がさらに市民に開かれたものになるよう、改革に向けた取り組みを継続していきます!

議会活動報告会2016

議会活動 ～第5回 議会活動報告会を開催しました～ 会派公約の進捗状況について解説!

▲『会派基本政策2015』の進捗状況を説明

2016年9月6日、今年も福岡市議会・福岡市民クラブの主催による「議会活動報告会」を開催し、支援者の方々を中心に、130名を超える多くの市民の皆様にお集まり頂きました。第5回目の開催となるこの日は、地方議会の仕組みと役割、福岡市の予算と政策、そして、前回の市議選の際に発表した公約集『会派基本政策2015』の中身についてそれぞれ解説。田中しんすけは政調会長として、主に会派基本政策の内容に関する説明を担当しましたが、質疑応答ではこれまで以上に多くのご指摘・要望、そして激励をお寄せ頂き、答弁するこちらも熱が入ってしまいました。

「市民に向き合う、開かれた議会を実現する」

その一環として毎年開催しているこの活動報告会。その言葉通り、皆様から賜ったご意見はしっかりと今後の私たちの活動に生かしてまいります。また、嬉しいことに今回の議会活動報告会の様子は、翌日（9月7日付）の西日本新聞朝刊に掲載されました。

「福岡市民クラブ」活動報告会に130人

福岡市議会の民進・社民党系会派、福岡市民クラブ」は日、議会棟で議会活動報告会を開き、支持者約130人に会派の基本政策や公約の進捗状況を説明した。

4月に三つの会派が合流してから初の報告会には、市議9人が会員出席。2015年度に全会派が参加する議会改革調査特別委員会を設置し、開かれた議会を目指していることなどが報告された。同会派が基本政策に掲げた31施策のうち、65%が実現へ進んでいるとの説明もあった。参加者から「男女共同参画を推進してほしい」などの意見もあった。

▲西日本新聞（朝刊）9月7日付より一部抜粋

議会の「見える化」に関する特集記事の一環ですが、この動きを次第に議会全体に広げていけるよう会派一丸となって取り組んでいきます。

◆ 福岡市政のトピックをご紹介! ◆

議会活動報告会の中では、福岡市が現在進めている個別政策についても解説しました。その中でも今回の記事では、参加者の反響が大きかった「子育て支援」に関する取り組みの一部をご紹介いたします。

子どもの「通院医療費」無料化対象を拡大!

子育て世代に対する負担軽減のため、医療費助成制度を拡充しました。具体的には平成28年10月から、小学校就学前までだった通院医療費の助成を、小学6年生まで拡大します。※これまで負担が無かった3～6歳児に対して新たに自己負担が発生する点については今後の課題です。

✚	現 行	→	拡大後
入院医療費	中学校3年生まで		中学校3年生まで
通院医療費	小学校就学前まで		小学校6年生まで

福岡市の子ども医療費助成拡大の概要（平成28年10月診療分から）

母親に対する「産後ケア」事業がスタート!

女性の健康づくりに向けた取り組みの一環で、出産直後の母親の心身ケアや育児サポートを行なう事業が新たに始まりました。産後も安心して子育てできる環境整備がさらに前進しました。

	産後ケア事業	産後ヘルパー事業
内 容	宿泊または日帰りによる母親の健康管理、授乳・沐浴方法の指導など	ヘルパーを派遣して、家事や育児の援助
費 用	宿泊:３万円、日帰り:２万円	２千円～４千円（２時間）
市の負担	７割	２千円（２時間）
個人負担	３割	上記の差額

9月定例会報告

議会質問 ～福岡市旅館業法施行条例の改正について～ 健全な「民泊サービス」の提供に向けて、質疑を行いました!

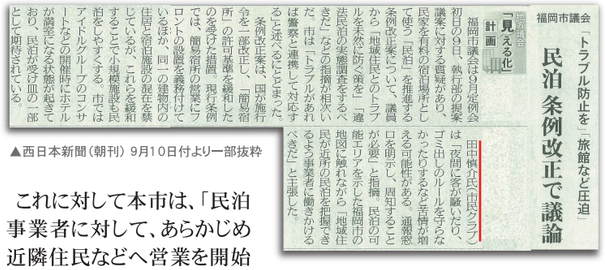
いよいよ始まる「民泊規制緩和」

旅館業法が改正されたことに伴い、住宅の全部または一部を活用して宿泊サービスを提供する、いわゆる「民泊サービス」の実施を可能にする条例改正案が提案されました。私たちは、今回の条例改正に賛成の立場でありながらも、今後の具体的な取り組みの中で「地域住民と民泊事業者（や宿泊客）との間のトラブルをどれだけ未然に防いでいくか?」という点を重視し、

①民泊施設開設の事前周知の徹底
②帳場（フロント）を設置しない施設に対する緊急時対応体制の確保
③悪質な民泊事業者に対する取り締まりの強化
④民泊に関する市民相談窓口の設置

の4点を要望しました。

▲議案質疑の様子（2015年9月10日）



福岡市議会

「見える化」計画

民泊 条例改正で議論

「トラブル防止を」「旅館なと圧迫」

田中慎介氏（市民クラブ）は一夜間に客が絶いたり、ゴミ出しのルールを守らな民家を有料の宿泊所として使う「民泊」を推進する条例改正案について、議員から「地域住民とのトラブルを未然に防ぐ策を」「違法民泊の実態調査をするべき」などの指摘が相次いだ。市は「トラブルがあれば警察と連携して対応する」と述べるにとどまった。

条例改正案は、「国が施行令を一部改正し、「簡易宿所」の許可基準を緩和したのを受けた措置。現行条例では、簡易宿所の営業にフロントの設置を義務付けているほか、同一の建物内の住居と宿泊施設の混在を禁じているが、これらを緩和することで規模縮小も民泊をやすくする。市はアイドルグループのコンサートなどの開催時にホテルが満室になる状態が起きており、民泊が受け皿の一部として期待されている。

▲西日本新聞（朝刊）9月10日付より一部抜粋

これに対して本市は、「民泊事業者に対して、あらかじめ近隣住民などへ営業を開始する旨や緊急時の連絡先を周知すること等を徹底するよう指導するとともに、悪質な事業者には警察と連携しながら対応する。また、区役所と連携しながら地域団体への（民泊施設に関する）情報提供にも努める」と答弁しました。本市で健全な「民泊サービス」が提供されるよう、今後の行政の取り組みを注視していきます。

議会改革 ～議会改革調査特別委員会での取り組み～ 議会改革、着々と進んでいます!

議会改革調査特別委員会

『請願審査』の仕組みが変わりました!

議会を通じて市政に対する要望を伝える『請願』について、その仕組みが大きく変わります。市議会で『請願』を受理・審査するためには、「紹介議員（常任委員会において請願者の思いを代弁する議員）」の署名が必要になります。しかし、実態としては「署名するだけ」という場面も多く、紹介議員にとってはその役割を果たす機会がなかなかありませんでした。

▲請願審査のイメージ

そこで、新たに「筆頭紹介議員」制度を導入することが決まりました。請願審査においては、この「筆頭紹介議員」が責任をもって請願趣旨を代弁する役割があることから、議員同士の質疑応答が活発化することが期待されます。

議員による『特別授業』が始まります!

9月21日に開催された特別委員会では、市議会議員が小中学生に対して議会の仕組みや役割を伝える『特別授業』を実施することが決まりました。実際の議場で行われるこの授業の中で、講師役である議員が「政治家を志した理由」や「力を入れている政策」などについて講義をすることも予定されています。

18歳選挙権の導入を受けて、子どもたちをはじめ、若い世代が政治や議会に関心を持ってもらえるよう、私たち福岡市議会も「政治参加の促進」に向けて力を尽くしてまいります!

「議場で小中生に授業を」

福岡市議会の議会改革調査特別委員会は21日、議会改革の一環として、小中学生を招く「特別授業」を議場で開き、市議が政治を志した理由などを語る取り組みを実施する方針で一致した。近く小島久弥議長に報告書を提出、具体的な方法などが話し合われる見込み。

選挙権年齢の「18歳以上」への引き下げを受け、若い世代に地方自治や市議の仕事に関心を高めてもらう狙い。特別授業は各校の社会科学習という位置付けで、議場が使用可能な月に年2回ほどの実施を想定している。小中学生は議員席に座り、選挙の仕組みや、市議から政治家を志した理由や施策について学ぶ。

「見える化」計画 地方議会

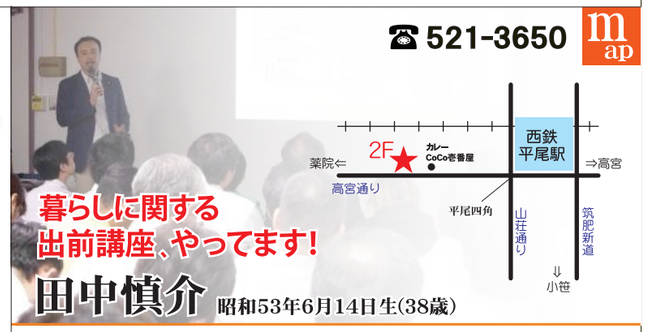
▲西日本新聞（朝刊）10月22日付より一部抜粋

政治活動 大学生が政治を学ぶ! 第19期・議員インターンシップを実施しました。

大学生の夏休みにあたる8月から9月にかけて、今年も田中しんすけ事務所ではインターンシップ大学生を受け入れ、様々な活動を経験してもらいました。市議会傍聴はもちろん、街頭演説などの政治活動、商店街イベント支援や校区行事にも積極的に参加。これらの経験を通じて「地方議員の仕事と役割」を肌で感じてもらえたなら幸いです。

特に、彼らが最も力を入れて取り組んだ政策研究では『ペットと共生するまち・福岡』というテーマで、福岡市の動物行政に対して政策提案を実施、多くの大学生の前でその成果を発表しました。

▲今年の夏は、3人の大学生が頑張りました!



暮らしに関する出前講座、やってます!

田中慎介 昭和53年6月14日生(38歳)

西高宮小学校	卒業	1991年	アクセンチュア（株）	入社	2004年
西南学院中学校	卒業	1994年	福岡市議会議員1期	当選	2007年
筑紫丘高等学校	卒業	1997年	福岡市議会議員2期	当選	2011年
九州大学法学部	卒業	2001年	福岡市議会議員3期	当選	2015年
早稲田大学大学院	修了	2004年			

田中しんすけ市政相談所
〒810-0014 福岡市中央区平尾2-3-21 2F
TEL:092-521-3650 FAX:092-521-5221
E-mail:info@tanakashinsuke.jp
田中しんすけ 検索